

伊勢湾に関する活動及び意識に係る
アンケート調査結果
報告書

平成 20 年 3 月

三重県環境森林部

はじめに

伊勢湾は古くから人々に、多くの恵みをもたらし、現代の私たちにとっても、かけがえのないものです。

しかし、伊勢湾を取り巻く環境は、埋め立てや都市化、工業化の進展、ライフスタイルの変化などにより、水環境の悪化や自然海岸の減少、海生生物の生息の場の減少など多くの課題も抱えています。

このかけがえのない伊勢湾を、次世代に継承するためには、伊勢湾に接している地域だけでなく、木曾三川を始めとする伊勢湾につながる河川の流域を含めた、伊勢湾及びその流域（伊勢湾流域圏）が一体となって総合的な伊勢湾再生への取組を行っていく必要があることから、平成18年2月に、中部地方整備局など国の関係機関と三県一市（岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）等が参画して「伊勢湾再生推進会議」を設立しました。

この推進会議におきまして、平成19年3月、「伊勢湾再生行動計画」を策定し、「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ため「伊勢湾の環境基準の達成を目指し、多様な生物が生息・生育する、人々が海と楽しく安全にふれあえる、美しく健全で活力ある伊勢湾の再生」を目標として、伊勢湾流域圏の産学官、沿岸域及び流域の人々やNPO等の様々な主体と協働・連携を図りながら、今後10年間を対象とした取組を推進し、伊勢湾のあるべき姿を実現することとしています。

このたび、三重県環境森林部水質改善室では、今後の施策や推進活動に反映させるために、主に三重県内に事業所を置いている企業（従業員30人以上）と伊勢湾流域・沿岸域の市町を対象に、環境の保全に関する活動状況や伊勢湾再生に関する意識等を調査しとりまとめました。

目 次

1. 調査の概要	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査実施要領	1
2. 調査結果	2
2-1 企業	2
2-2 市町	11
3. まとめ	20
3-1 伊勢湾再生に関する「環境の保全」の取り組み状況について	20
3-2 伊勢湾との関わりが減少した原因について	20
3-3 過去の環境イベントへの参加状況について	20
3-4 今後開催されるイベント等への参加の可能性について	21
3-5 伊勢湾再生のために企業と行政とが協働・連携して行う活動は何が重要か	21

1. 調査の概要

1-1 調査の目的

県内において活動する企業及び伊勢湾流域・沿岸域の市町の伊勢湾再生に関する取り組みや意識等を調査・分析し、その結果を、今後の伊勢湾再生の施策や伊勢湾再生行動計画の推進に活用することを目的としました。

1-2 調査実施要領

(1) 調査対象

主に、三重県に事業所(本社、支社、支店、営業所、工場等)を置いている、従業員30人以上の企業と伊勢湾流域・沿岸域の市町としました。

(2) 調査の方法

アンケート調査票を送付し、返信用封筒等により回収しました。

(3) サンプル(標本)数・回収結果

対象	有効差出数	有効回答数	回収率(%)
企業	2,116	761	36
市町	21	21	100

(4) 調査期間

平成19年12月3日～平成20年3月31日

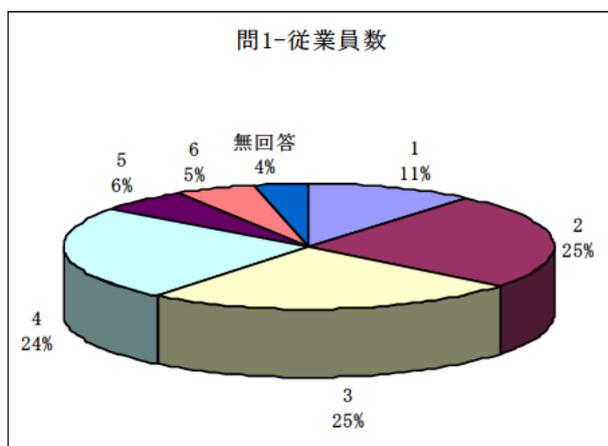
2. 調査結果

2-1 企業

問1.「貴社についてお尋ねします。社名、所在地、従業員数等をお教え下さい。また、記入者の方の氏名、部署名、連絡先をお書き下さい。」

社名、所在地、従業員数等について記述式で回答を求めた。

結果、従業員数は、「2. 31～50人」が25%(188件)、「3. 51～100人」が25%(187件)、「4. 101～150人」が24%(186件)と、ほぼ同程度の割合となっており従業員数31～150人以下の事業所で85%を占めた。

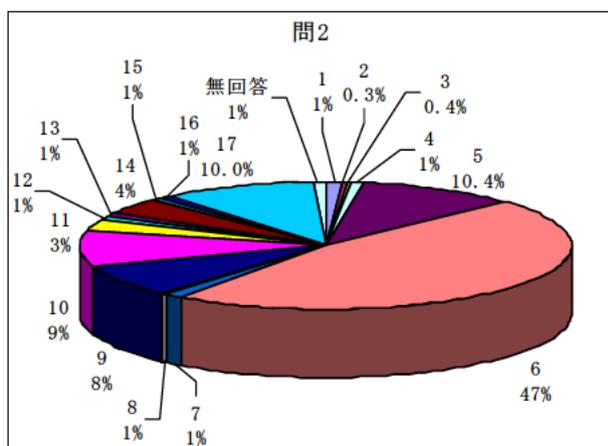


項目	件数
1 1～30人	85
2 31～50人	188
3 51～100人	187
4 101～150人	186
5 151～300人	47
6 300人以上	40
無回答	28

問2.「貴社の産業分類に基づく業種について()に○を記入して下さい。また、業務概要をお書き下さい。」

産業分野について、選択式で回答を求めた。

結果、「製造業」が47%(369件)と約半数を占め、続いて「建設業」が10%(81件)、「サービス業(他に分類されないもの)」が10%(78件)、「卸売・小売業」が9%(73件)、「運輸業」が8%(62件)であった。



項目	件数
1 農業	9
2 林業	2
3 漁業	3
4 飲業	5
5 建設業	81
6 製造業	369
7 電気・ガス・熱供給・水道業	7
8 情報通信業	5
9 運輸業	62
10 卸売・小売業	73
11 金融・保険業	20
12 不動産業	7
13 飲食店・宿泊業	10
14 医療・福祉	30
15 教育・学習支援業	6
16 複合サービス事業	6
17 サービス業(他に分類されないもの)	78
無回答	7

問3.「貴社で行っている社会貢献活動等の中で伊勢湾再生に関する「環境の保全」の取り組みを行っていますか。行っている場合、どのような取り組みか具体的にお教え下さい。」

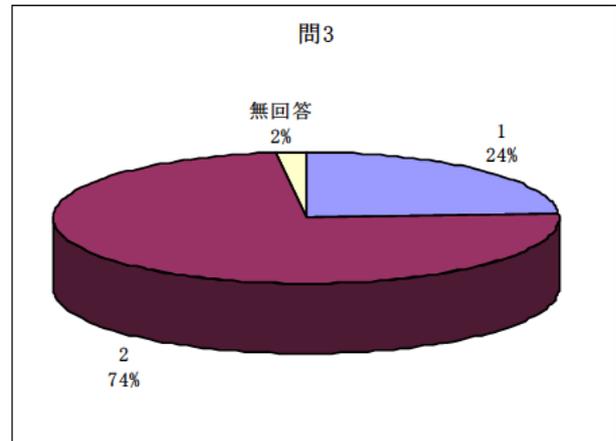
取り組み内容について、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 行っている」が24%(181件)、一方、「2. 行っていない」が74%(565件)と多くを占めた。

「1. 行っている」と回答した181件の取り組み内容の主なものは以下のとおりであった。

1. ISO14001により、環境保全の継続的改善の実施。(49件)
2. 汚染の予防・防止対策等の実施。(44件)
3. 事業場排水の管理の実施。(32件)
4. 清掃活動(河川・海等)の実施。(18件)
5. ごみ、産業廃棄物の削減等の実施。(14件)

資料編(問3 伊勢湾再生に関する「環境の保全」の取り組み内容)に各企業の取り組み内容を示した。

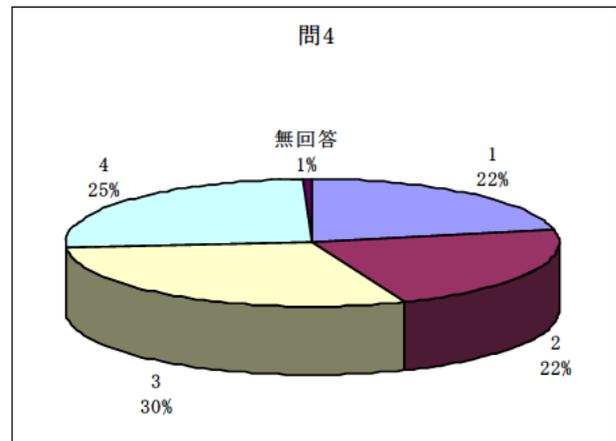


項目	件数
1 行っている	181
2 行っていない	565
無回答	15

問4.「貴社は伊勢湾との関わり等を意識して事業を行っていますか。」

伊勢湾との関わりを意識して事業を行っているかについて、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 意識している」が22%(168件)、「2. どちらかといえば意識している」が22%(166件)であった。一方、「3. どちらかといえば意識していない」が30%(228件)、「4. 意識していない」が25%(194件)で、どちらかといえば意識していないを含めると、意識していない企業で過半数を占めた。



項目	件数
1 意識している	168
2 どちらかといえば意識している	166
3 どちらかといえば意識していない	228
4 意識していない	194
無回答	5

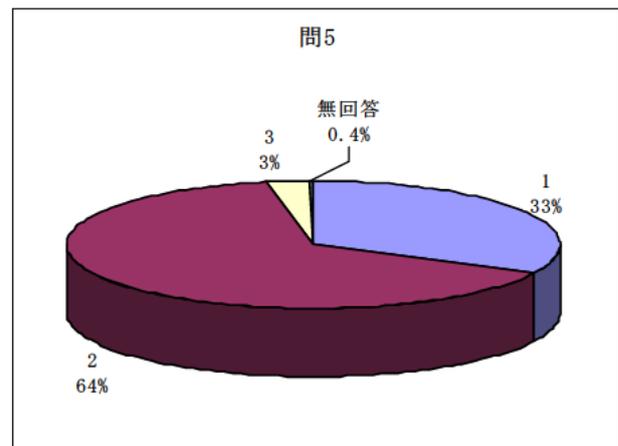
問5. 「伊勢湾は、急速な経済発展による環境への負の影響を受け、水質汚濁の慢性化、生態系への影響が懸念されています。また、沿岸域では国土保全のための海岸保全施設等の整備が進められ、安全性は高まりましたが、一方で人々と伊勢湾との関わりが減少している状況にあります。このような状況について、貴社の事業等を通して実感したことはありますか。」

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 実感している」が33%(248件)、「2. 実感したことがない」が64%(489件)であった。

「実感したことがない」が過半数を占めた。原因としては、企業活動に伴う伊勢湾との関係としては、排水基準などの伊勢湾に係る法規制を遵守する義務があることが原因で、ここでいう人々と伊勢湾の関わり方の減少についての質問はイメージしづらかったものと考えられる。

その他の21件については、資料編(問5「3. その他」として記載された内容)に示した。



項目	件数
1 実感している	248
2 実感したことがない	489
3 その他	21
無回答	3

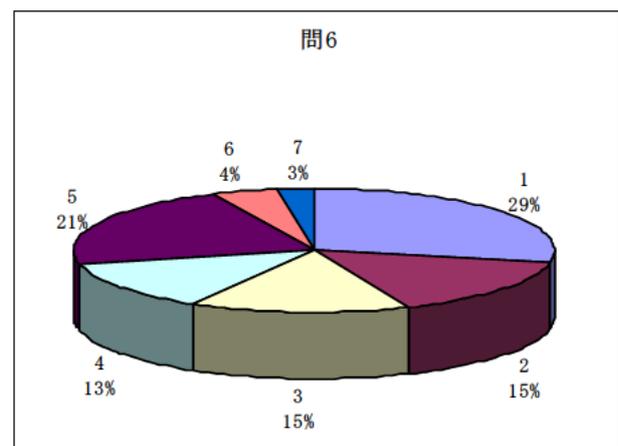
問6. 「問5で「1. 実感している」とお答えの貴社にお尋ねします(それ以外の方は「問8」へ)。どのような点でお感じになりましたか。(複数可)」

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 水質汚濁」が29%(164件)、続いて「5. 浮遊・漂着ごみ」が21%(124件)、「2. 赤潮、苦潮等の発生」が15%(89件)、「3. 自然海岸の減少」が15%(84件)、「4. 生物の減少」が13%(77件)であった。

「1. 水質汚濁」と「5. 浮遊・漂着ごみ」で50%を占めた。

その他の15件については、資料編(問6「7. その他」として記載された内容)に示した。



項目	件数
1 水質汚濁	164
2 赤潮、苦潮等の発生	89
3 自然海岸の減少	84
4 生物の減少	77
5 浮遊・漂着ごみ	124
6 人とのふれあいの場等の減少	26
7 その他	15
無回答	0

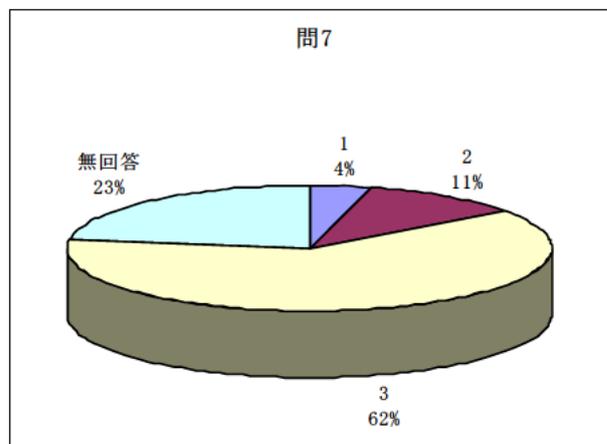
問7. 「伊勢湾流域において、「河川・海岸清掃」、「セミナー」等、伊勢湾再生に関係する多くのイベントや活動、セミナー等が開催されております。貴社は今までにこのようなイベント等に参加されたことがありますか。」

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「3. 参加したことがない」が62% (473件)と多く、続いて「2. 参加したことがある」が11% (32件)、「1. いつも参加している」が4% (32件)であった。

また、「無回答」が23% (173件)を占めた。

「いつも参加している」イベントと「参加したことがある」イベントを下表に記載した。



項目	件数
1 いつも参加している	32
2 参加したことがある	83
3 参加したことがない	473
無回答	173

いつも参加しているイベント

<ul style="list-style-type: none"> ・河川・海岸清掃 ・海浜清掃(津阿漕浦) ・年1回の海岸沿いを清掃活動 ・川と海のクリーン大作戦 ・香良洲町ふれあいの香り渚のフェスティバル ・河川清掃事業 ・鈴鹿クリーン作業(3月上旬実施) ・漁協、建設部との河川清掃 ・川と海のクリーン大作戦 ・勢田川清掃 ・川と海のクリーン大作戦(鈴鹿川編) ・霞ヶ浦地区環境美化行動 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽清港会による港湾清掃 ・川と海のクリーン大作戦(木曾三川) ・クリーンタウン楠 ・伊賀市主催「環境ボランティア活動」 ・一斉清掃等 ・五主海岸清掃 ・三重県産廃協会環境美化活動 ・河川清掃、草刈(建設業協会) ・鈴鹿川クリーン作戦 ・国土交通省や亀山市の主催する鈴鹿川の清掃 ・町屋海岸清掃活動 ・連合三泗地協列島クリーンキャンペーン
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参加したことがあるイベント

<ul style="list-style-type: none"> ・櫛田川清掃 ・(個人で)朝明川ルネッサンス ・河川流域での地域貢献活動交流会(県政策部主催) ・エコシティ津ネットワークへの参加(環境フェア等) ・社宅居住者による海岸清掃デー ・建設業協会清掃活動 ・セミナー ・鈴鹿川清掃 ・鈴鹿川クリーンアップ作戦 ・海岸清掃 ・鈴鹿川河川清掃など ・海岸清掃活動 ・ゴミゼロセミナー ・清掃活動 ・クリーンビーチ等、落書き消し ・大山田美化運動 ・津市民清掃デー、岩田川清掃活動 ・津の美しい海づくり海岸一斉清掃(阿漕浦地区) ・川越町朝日川河口海岸の整備 ・川と海のクリーン大作戦 ・宮川流域ルネッサンス ・七夕大掃除 ・末広町地域清掃活動、各種セミナー及び説明会 ・鈴鹿・亀山生活創造圏ビジョン推進会議 ・勢田川清掃 ・海岸清掃(ビーチクリーン) ・高浜市主催の一斉清掃、その他、自主活動としてゼロの日に会社周辺の河岸道路でのゴミ拾い活動を実施しています。 ・南伊勢町主催のクリーン運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に年1回のクリーン作戦 ・企業グループのクリーン作戦 ・第6次総量規制についてのセミナー ・海辺の調査 ・高等学校において「伊勢勢田川七夕大掃除」に参加したことがある。 ・津市海水浴場のゴミ拾い ・労働組合関係イベント(海岸清掃…千代崎海岸) ・御殿場海岸の清掃 ・閉鎖性海域における環境創生プロジェクト ・英虞湾の水質を考える会は常に参加、英虞湾の水質汚濁に関するセミナー ・津の美しい海づくり ・コスモ石油アースコンシャスキャンペーン ・市教育委員会等海のイベント ・河川・海岸清掃 ・海蔵川河川敷清掃 ・松名瀬海岸クリーン大会等 ・鳥羽清港会主催海岸美化活動 ・宮川七夕清掃、勢田川浄化活動 ・三重県地球温暖化セミナー、廃棄物セミナー ・全国なぎさシンポジウム ・木曾三川沿い及び河口部での清掃活動 ・長良川河口堰環境学習会他” ・津市一斉海岸清掃他 ・環境セミナー等 ・建設業協会主催・自治会・会社独自 ・県森連主催津海岸清掃活動 ・海岸の清掃事業 ・ホンダ七日会・環境改善委員会「クリーン作戦」 ・ゴミゼロ活動 ・会社横にある川を含む周辺地域清掃 ・英虞湾再生プロジェクト ・セミナー等、海浜清掃
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

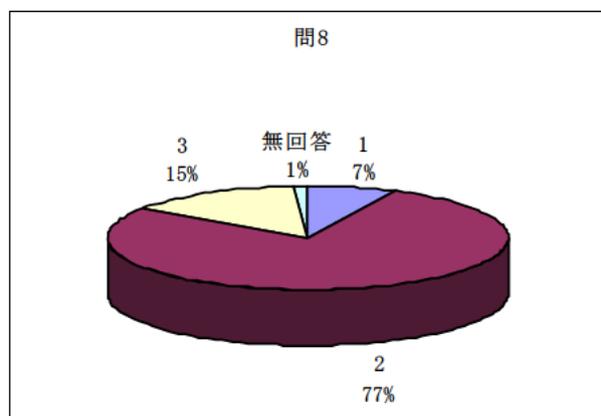
問8. 「問7に関連して、今後このようなイベント、セミナー等が開催される場合、参加するお考えはありますか。」

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 参加したい」が7%(56件)、「2. 条件・趣旨が合えば参加したい」が77%(586件)、「3. 参加しない」が15%(110件)であった。

「2. 条件、趣旨が合えば参加したい」の理由としては、「b. 近くなら」が過半数を占め、続いて「a. 無料なら」が1/4を占めた。

一方、今後のイベント、セミナー等に参加しない理由として多かったのは、「直接関係がない」、「忙しい」、「余裕がない」、「流域外」等の回答が多かった。参加しないと解答した110件については、資料編(問8 参加しない理由として記載された内容)に示した。



項目	件数
1 参加したい	56
2 条件、趣旨が合えば参加したい	586
a. 無料なら	169
b. 近くなら	393
c. その他	93
3 参加しない	110
無回答	9

問9. 「今後、新たに企画してほしいイベントや活動、セミナー等がございましたらお教え下さい。具体的にお書き下さい。」

このことについて、記述式で回答を求めた。

主な意見としては、

1. 伊勢湾の環境状況等の現況周知のためのセミナー
2. 伊勢湾の汚染実態についての講演会
3. 水処理技術等のセミナー
4. 陸域における負荷削減のためのセミナー
5. 家庭排水(単独浄化槽)と企業排水(合併浄化槽、三次処理)の海域の水質汚濁への影響度のセミナー
6. 伊勢湾浄化・再生のためのアクションプランの啓蒙
7. 伊勢湾に集まれる環境保全をアピールできるイベント
8. 海岸、流入河川の清掃活動等

等であった。

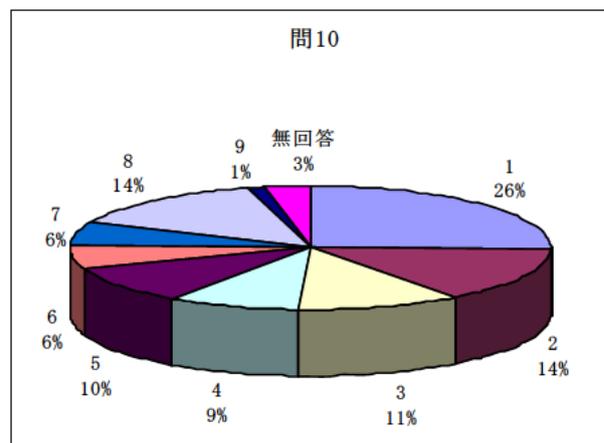
個々の意見については、資料編(問9 今後、新たに企画してほしいイベントや活動、セミナー等の内容)に示した。

問 10. 「現在行っている事業活動の観点から、伊勢湾再生のために行政と協働・連携して行う活動としてどのような事が重要だとお考えですか（上位3つを選択して下さい）。」

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 伊勢湾に関する様々な情報の共有」が26% (501件)、続いて「8. 伊勢湾流域圏が一体となった行事、催事等の整理、調査、研究」が14% (276件)、「2. 水質、生物等のモニタリングの協働・連携」が14% (275件)、「3. 森林や施設の維持管理の共同、分担実施」が11% (220件)、「5. 行政施策への支援、協力」が10% (191件)、「4. 活動の場、活動の機会の提供、支援」が9% (173件)の順であった。

また、「9. その他」として記載された20件の内容は、資料編(問10「9. その他」として記載された内容)に示した。



項目	件数
1 伊勢湾に関する様々な情報の共有	501
2 水質、生物等のモニタリングの協働・連携	275
3 森林や施設の維持管理の共同、分担実施	220
4 活動の場、活動の機会の提供	173
5 行政施策への支援、協力	191
6 伊勢湾ブランドの創出・発信	120
7 自然や歴史的・文化資源の整理、調査、研究	120
8 伊勢湾流域圏が一体となった行事、催事等の整理、調査、研究	276
9 その他	20
無回答	60

問 11. 「貴社が今後、伊勢湾再生のために活動等を行おうとする場合、どのような支援策（をお望みですか）があればよいとお考えですか。お教え下さい。」

このことについて、記述式で回答を求めた。

記載された内容の主なものは、以下のとおりであった。

1. 情報の発信・提供(活動事例、水処理技術、リサイクル知識・技術、伊勢湾の現況・実態)。
2. 活動費(植樹、海岸の清掃、川の清掃、ゴミ拾い、水質浄化、環境教育)。
3. 補助金(水処理施設建設、下水道工事、低公害車購入)。

個々の支援策については、資料編(問11 今後、伊勢湾再生のために活動等を行おうとする場合、望まれる支援策)に示した。

問 12. 「三重県では多様な主体（企業、大学、NPO等）との協働・連携が必要と考えております。今後、伊勢湾再生のために多様な主体が参加する協働・連携の場が必要と考えますか。」

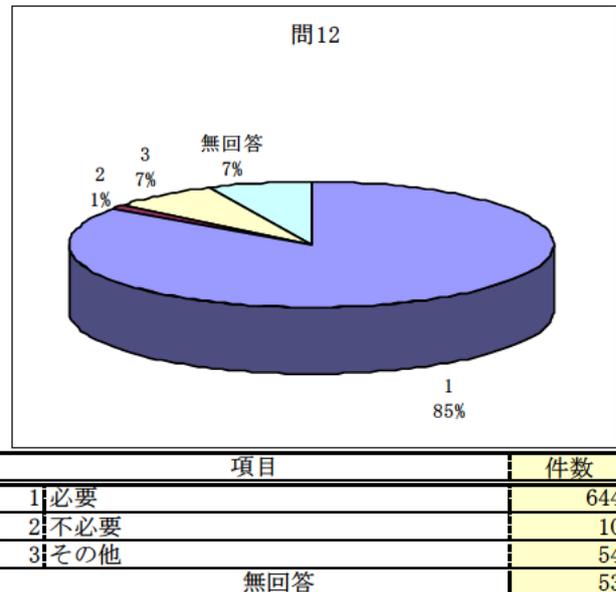
このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 必要」が85% (644件)で大半を占め、「2. 不必要」は1% (10件)にとどまり、

「3. その他」は7% (54件)であった。

伊勢湾再生のためには、多様な主体が参加する協働・連携の場が必要であるとの認識が強いことが分かる結果であった。

その他として記載された個々の意見は、資料編（問 12 「3. その他」として記載された内容)に示した。



問 13. 「最後に、同封の資料「伊勢湾再生行動計画（概要版）」に対するご意見、ご要望等ありましたら、お教え下さい。」

意見、要望の主なものは以下のとおりであった。

1. 伊勢湾再生の目標がいまひとつ具体的でない為に施策が総合的になっているのではないのでしょうか？
2. 生活排水での負荷をもう少し明確にして住民への意識向上を図ってみては。
3. 立案した計画は計画だけに終わらず、少しでも味のある活動をしてもらいたい。又、その結果を定期的に公表してもらいたい。
4. 早速、行動計画を具体化していただきたく、お願いします。
5. 官民一体となった活動で、特に市民が参加しやすい活動と、県民(愛知・岐阜・三重の三位一体となって)への意識啓発。特に学校教育を含めての活動をお願いしたい。
6. 活動計画に対する実施結果、状況に関する様々な情報の発信を期待し、企業として協力可能な範囲で取組んでいくためにも情報の共有化をお願いするところです。
7. 「県民だより」などを通して、広く県民に伝えた方が良いと思います。
8. 目的～目標～目標達成のための施策までわかりやすくまとめられていると思います。次のステップアップとして誰が、いつまでに、何をするのかを数値目標を入れて記述した方が良いと思います。
9. 言葉自体馴染みがなく、PR不足と思われます。
10. 行動計画策定の目的には大変共感できますが、実際の行動計画をもう少し具体性を持たせて頂きたいと感じました。
11. 具体的な実施計画による関係者用の目標を定め、取組んでいくことが重要と思われます。
12. 行動計画のPDCAを遂行してゆくためには、特に具体的DOの施策が大切と考えます。計画倒れ、「絵に描いたモチ」に終わらないために流域の人々、企業、他全員が関心を持ち、Actionするた

めに如何にPRし実行するかがPointになると思います。

13. 伊勢湾を再生することによって得られる効果(あるいはメリット)を多様な形で具体性を持って訴えられるようなデータや指標があればそういったものを計画に盛り込むのも一つの手段かと思われる。
14. 資料は良くまとまっており理解できるが、じゃあ私共や当社が具体的にどうすればよいのかに結びつきにくい。参加できる具体的活動指針の情報が望まれる。
15. 今後、具体的アクションプラン(スケジュール)があるとより良いです。
16. 壮大な伊勢湾再生行動計画だと思いますが、今後、具体的に実行され、伊勢湾が再生されることを期待します。
17. 産・官・学その他、NPOなどの様々な団体で取組むのであれば、伊勢湾再生で誰が恩恵を受けるのか(視野を広くすれば各方面、団体、個人であるが)。実質、大きく恩恵を受けるのは漁協であり、漁業者であると思う。現在、タンカー事故においても、一部漁業権のある方たちだと思うので、その方たちをもっと取り込み中心的に活動を広げていただけたらと思います。
18. 内容については、幅の広い、大切な内容ばかりだと思います。生活者と海との関わり等、より具体的に知らせることが必要だと思います。やって見えるかもしれませんが、県政日より、市町政たより等の広報にいっせいに記載するなど、知らせる活動がいいのではないのでしょうか。
19. 行動計画の実施状況についての情報提供や積極的な広報活動をお願いします。…情報不足
20. 文書は極力少なくして、簡単な図で表現できないか。
21. 今後、「伊勢湾再生行動計画」の進捗状況が確認できるように、また、社会に周知できるようにしてほしい。
22. 伊勢湾にかかる東海3県の自治体の取組がすっきりとまとまっていて、とても解りやすかったです。施策事例(p10~11)が「…事業」ではなく具体的な活動を想定できる表現、説明でしたら理解が一層深まるのではないのでしょうか。
23. 森・川・海の具体的な取り組みの紹介が欲しい。
24. 環境保全活動を行っているが、「伊勢湾再生」に結びつけた意識は今までなかったもので、知る機会となった。今までアピールの機会がなかったのではと思います。
25. 一般の県民がみても理解できるレベルの行動計画、実績などを作成してほしい。私は水質にやや知識があるので、概要版はある程度理解出来ますが、県民(全員)の意識を変えないといけないのであれば、目で訴えることも必要かもしれません。伊勢湾再生見学会など良いとおもいます。
26. 伊勢湾再生のためには、愛知県・岐阜県・名古屋市との連携が大切であり、6-(2)でも言及されていますが、これをメインにするべきではないのでしょうか。
27. 難しい課題とありますが、モニタリングに基づいた各種活動への各地域住民の参画意識を高める方策が必要と考えます。
28. 目標がある意味抽象的な側面もあり、数値目標を掲げにくいと思われるが、数値目標を定めることにより達成度が比較的容易に示すことが出来ると思われる。
29. 森林保全による保水能力向上、農業、用水路の水質改善等もふれる必要もあると思います。
30. マナーの向上、全員参加の取組等、積極的施策が入っていないように思います。もっと深く計画を練るべきでは？

個々の意見については、資料編(問 13 「伊勢湾再生行動計画 (概要版)」に対するご意見、ご要望等)に示した。

2-2 市町

問1.「貴市町についてお尋ねします。市町名をお教え下さい。また、記入者の方の氏名、部署名、連絡先をお書き下さい。」

市町名	部署名	TEL	e-mail
津市	環境部環境保全課	059-226-3140	229-3140@city.tsu.lg.jp
四日市市	環境部環境保全課	059-354-8189	kankyouhozen@city.yokkaichi.mie.jp
伊勢市	環境部環境課	0596-21-5542	kankyo@city.ise.mie.jp
松阪市	環境部環境課	0598-53-4067	kan.div@city.matsusaka.mie.jp
桑名市	環境部環境管理課	0594-24-1437	kankyo@city.kuwana.lg.jp
鈴鹿市	環境部環境政策課	059-382-7954	kankyosesaku@city.suzuka.lg.jp
亀山市	環境森林部環境保全対策室	0595-84-5068	kankyo-hozen@city.kameyama.mie.jp
鳥羽市	環境課	0599-25-1149	emiko.k@toba.city.lg.jp
いなべ市	市民部生活環境課	0594-72-3946	r-kawasaki00@city.inabe.mie.jp
志摩市	生活環境部環境課	0599-55-1013	kankyo@city.shima.lg.jp
木曾岬町	産業環境課	0567-68-6105	sangyou@town.kisosaki.mie.jp
東員町	生活福祉部生活環境課生活環境係	0594-86-2807	kankyo@town.toin.mie.jp
菰野町	環境課	059-391-1150	kankyou@town.komono.mie.jp
朝日町	町民福祉課	059-377-5653	masaya_nozaki@town.asahi.mie.jp
川越町	民生部町民環境課	059-366-7115	k-jyukan@town.kawagoe.mie.jp
多気町	環境課	0598-38-1118	kankyo@town.mie-taki.lg.jp
明和町	環境課	0596-52-7117	kankyou@town.mie-meiwa.lg.jp
大台町	生活環境課	0598-82-3787	odai-kan@odaitown.jp
玉城町	生活福祉課	0596-58-8203	seikan@town.tamaki.lg.jp
度会町	福祉保健課保健センター	0596-62-1112	kazuhisa@town.watarai.mie.jp
大紀町	環境水道課	0598-86-2245	kan@town.mie-taiki.lg.jp

問2.「貴市町で伊勢湾の再生等の「環境の保全」に取り組んでいる部署はどこですか。最小部署名までお書き下さい（〇〇部〇〇課〇〇係、〇〇室等）。部署が複数ある場合は、全てお書き下さい。」

市町名	関係部署			
津市	環境部環境政策課資源循環推進担当	環境部環境保全課環境保全担当		
四日市市	環境部環境保全課大気水質係	環境部環境保全課環境調整係		
伊勢市	環境部環境課	産業部水産課		
松阪市	環境部環境課環境保全課			
桑名市	環境部環境管理課環境計画係			
鈴鹿市	環境部環境政策課	産業振興部集落排水課	都市整備部下水道管理課	
亀山市	環境森林部環境保全対策室	環境森林部環境森林保全室	産業建設部まちづくり保全室	
鳥羽市	環境課環境保全係	企画財政課企画調整係	農水商工観光課農林係	農水商工観光課水産係
いなべ市	市民部生活環境課環境係			
志摩市	生活環境部環境課			
木曽岬町	産業環境課			
東員町	生活福祉部生活環境課生活環境係			
菰野町	環境課			
朝日町	町民福祉課			
川越町	民生部町民環境課			
多気町	環境課			
明和町	環境課生活環境係	産業課基盤整備係	建設課管理第一係	
大台町	生活環境課			
玉城町	生活福祉課生活環境係			
度会町	福祉保健課保健センター			
大紀町	環境水道課			

問3.「貴市町では伊勢湾再生のために、現在何か取り組みを行っていますか。行っている場合は具体的にお書き下さい。

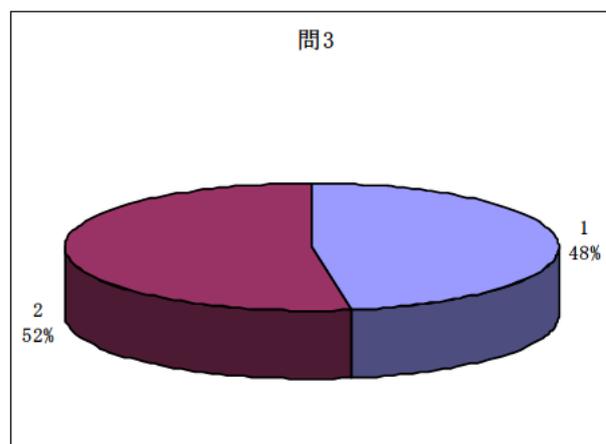
また、その取り組みは、市町単独ですか、他（企業、自治会、学校、NPO等）と連携している場合は具体的にお書き下さい。」

取組内容について、選択式で回答を求めた。

結果、「1.行っている」が48%（10件）、「2.行っていない」が52%（11件）であった。

「1.行っている」と回答した10件の内容については、以下に記載した。

- ・伊勢志摩地域の市町による連絡会議参加（ごみ、不法投棄）。
- ・生活排水対策重点地域事業に関して、生活排水対策協議会を設置し、アクリルたわし利用等による水質汚濁の軽減等、市民への啓発を行い、河川水質の改善、ひいては海域の浄化につながるような活動を行っています。
- ・川の清掃を目的としたクリーン作戦。
- ・浄化槽の推進。
- ・伊勢湾海域再発見（・村松海岸自然観察・生活排水学習会）。
- ・県と連携し、海岸清掃を年に数回行っている。また、自治会・事業者・市の主催による「市民清掃デー」においても海岸清掃を行っている。
- ・津市環境フェアなどの環境教育。
- ・生活排水処理施設の整備。
- ・①海と森林を結ぶ交流事業（主催：鈴鹿市漁業協同組合、鈴鹿森林組合 協力：亀山市加太みどりの少年隊、鈴鹿市、亀山市、三重県）。
- ・②川と海のクリーン大作戦（国土交通省三重河川国道事務所と連携して毎年10月に鈴鹿川河川敷を清掃）。
- ・菰野町クリーン大作戦（1回/年、約10,000人/回）区長会が主体となり、町内居住者・事業者等が各区内の清掃活動を行う。
- ・三泗地区広域美化推進協議会（1回/年、各市町1～2名）四日市市、川越町、朝日町と連携して、不法投棄のパトロールなど清掃活動を行う。
- ・環境クリーン運動（ゴミひろい）



項目	件数
1.行っている	10
2.行っていない	11
無回答	0

問4.「貴市町管内の企業で、環境活動に積極的な企業や行政と連携している企業等があれば、ご紹介下さい。」

このことについて、記述式で回答を求めた。

回答は下表に記載した。

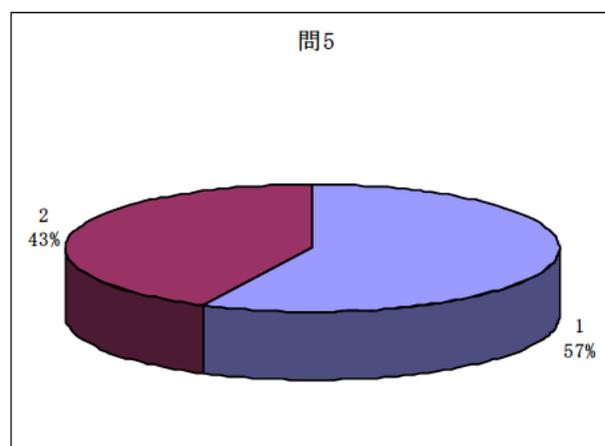
市町名	企業名	活動内容
松阪市	パナソニックエレクトロニクスデバイス(株)	6月の環境月間行事の一環として工場周辺地域の一斉清掃を実施
	イオン松阪ショッピングセンターマーム	こどもエコクラブ活動(イオン)
鈴鹿市	イオンモール鈴鹿ベルシティ	こどもエコクラブ活動 ごみの削減
鳥羽市	戸田家、扇芳閣	
いなべ市	工建業組合	員弁川の清掃活動(年1回)
多気町	シャープ	年3回河川のごみの回収を従業員と協力工場の従業員や地域住民と協働し行っている。
明和町	イオンジャスコ明和店	こどもエコクラブの事務局を運営している
玉城町	京セラミタ(株)玉城工場	県主催キッズ ISO 協賛(玉城町内2小学校)

問5. 伊勢湾は、急速な経済発展による環境への負の影響を受け、水質汚濁の慢性化、生態系への影響が懸念されています。また、沿岸域では国土保全のための海岸保全施設等の整備が進められ、安全性は高まりましたが、一方で人々と伊勢湾との関わりが減少している状況にあります。

このような状況について、貴市町の行政等を通して実感したことはありますか。

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 実感している」が57%(12件)、「2. 実感したことがない」が43%(9件)であった。

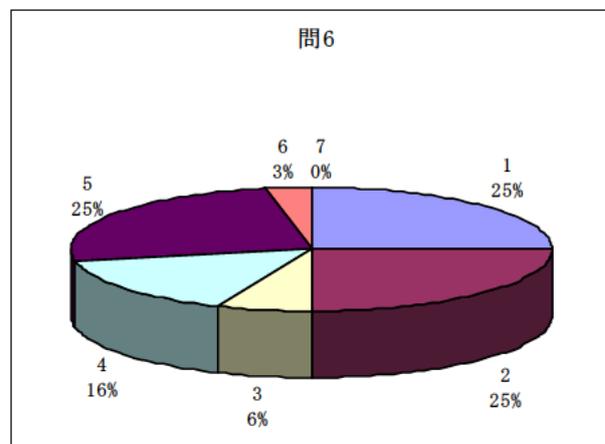


項目	件数
1 実感している	12
2 実感したことがない	9
3 その他	0
無回答	0

問6. 「問5で「1. 実感している」とお答えの貴市町にお尋ねします（それ以外の方は「問7」へ）。どのような点でお感じになりましたか。（複数可）」

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 水質汚濁」、「2. 赤潮、苦潮等の発生」、「5. 浮遊・漂着ごみ」が25%（8件）、続いて「4. 生物の減少」が16%（5件）、「3. 自然海岸の減少」が6%（2件）、「6. 人とのふれあいの場等の減少」が3%（1件）であった。



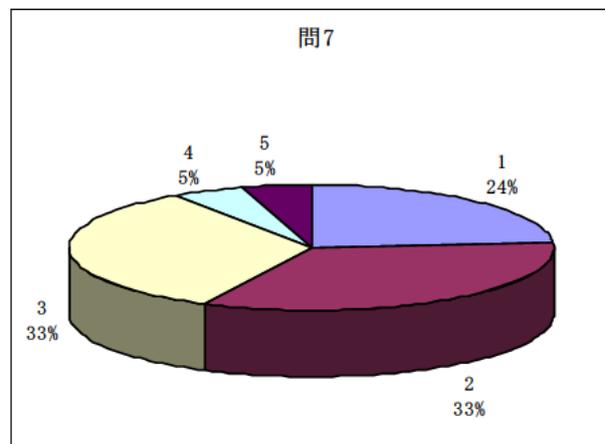
項目	件数
1 水質汚濁	8
2 赤潮、苦潮等の発生	8
3 自然海岸の減少	2
4 生物の減少	5
5 浮遊・漂着ごみ	8
6 人とのふれあいの場等の減少	1
7 その他	0
無回答	0

問7.「伊勢湾流域において、「河川・海岸清掃」、「セミナー」等、伊勢湾再生に関係する多くのイベントや活動、セミナー等が開催されております。貴市町として今までにこのようなイベント等に参加・協力等されたことがありますか。」

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「2. 参加したことがある」、「3. 参加したことがない」がともに33%(7件)、続いて、「1. いつも参加している」が24%(5件)であった。

いつも参加しているイベントと参加したことがあるイベント、後援したことがあるイベントを下表に記載した。



項目	件数
1 いつも参加している	5
2 参加したことがある	7
3 参加したことがない	7
4 協賛したことがある	1
5 後援したことがある	1
無回答	0

市町名	いつも参加しているイベント
伊勢市	漁港の管理者として漁協へ海岸清掃を委託している(水産課)
松阪市	川と海のクリーン大作戦(維持課)
鳥羽市	クリーンアップキャンペーン
木曽岬町	川と海のクリーン大作戦
大台町	宮川流域ルネッサンス

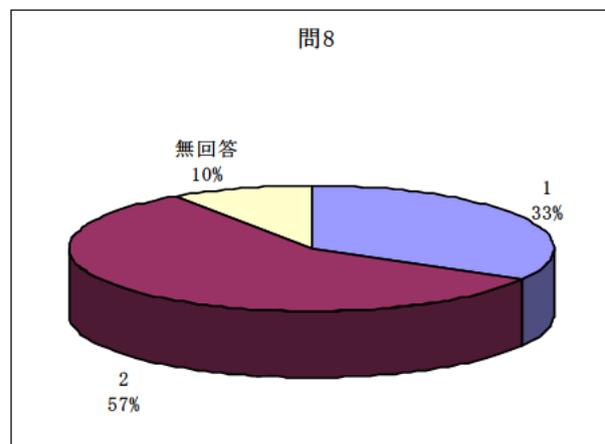
市町名	参加したことがあるイベント
津市	「阿漕浦海岸清掃」「津の美しい海づくり海岸清掃」
四日市市	伊勢湾再生会議
桑名市	国土交通省、川と海のクリーン大作戦
鈴鹿市	河川、海岸清掃等
多気町	櫛田川デー
度会町	きれいな伊勢志摩づくり連絡協議会「河川清掃」

市町名	後援したことがあるイベント
玉城町	きれいな伊勢志摩づくり連絡協議会

問8. 「問7に関連して、今後このようなイベント、セミナー等を主体として開催するお考えはありますか。開催する場合はどのような催しですか、具体的にお書き下さい。」

このことについて、選択式および記述式で回答を求めた。

結果、「1 開催したい」が33% (7件)、「2. 開催しない」が57% (12件)であった。
 開催したいイベント、セミナー等と開催しない理由を下表に記載した。



項目	件数
1 開催したい	7
2 開催しない	12
無回答	2

市町名	開催したいイベント、セミナー等
津市	市民清掃デーにおける海岸清掃、環境フェア
鳥羽市	08 海ごみサミット・鳥羽会議
大台町	環境クリーン運動
玉城町	ごみ、不法投棄
大紀町	当町は伊勢湾に面していないので、河川に対してのイベント等

市町名	開催しない理由
四日市市	現在、計画がないため
伊勢市	人員、予算の不足
いなべ市	員弁川の美化・環境保全を優先するから
朝日町	開催ノウハウ、予算がない
多気町	面的に接していないため実感が薄い
明和町	県などが開催するものへの参加に重点を置いているため
度会町	きれいな伊勢志摩づくり連絡協議会に参加しているため

問9. 「今後、新たに企画してほしいイベントや活動、セミナー等がございましたらお教え下さい。具体的にお書き下さい。」

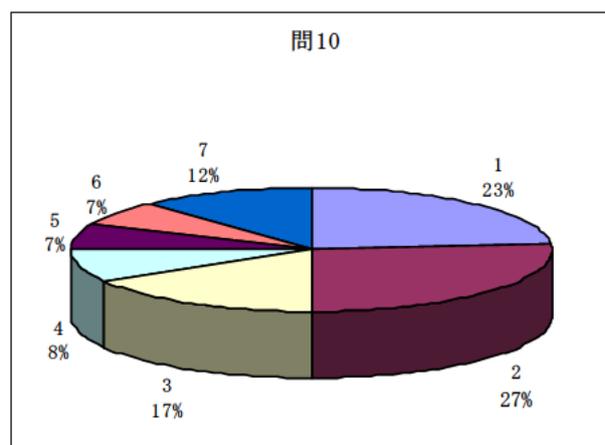
今後、新たに企画してほしいイベントや活動、セミナー等を下表に記載した。

市町名	新たに企画してほしいイベントや活動、セミナー等
鈴鹿市	伊勢湾流域の自然環境について、県民が専門家や行政と協働で調査を行う活動
亀山市	伊勢湾について関心もてるようなイベント。(例えばどのような生物が息しているのかわかるようなイベント)
菟野町	下水道、浄化槽(個人型・市町村型)等、生活排水対策に関するイベントを市町の参考事例を基に開催してほしい

問10. 「現在行っている市町行政の観点から、伊勢湾再生のために三重県と協働・連携して行う活動としてどのような事が重要だとお考えですか(上位3つを選択して下さい)。」

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「2. 水質、生物等のモニタリングの協働・連携」が27%(16件)と多く、続いて「1. 伊勢湾に関する様々な情報の共有」が23%(14件)、「3. 森林や施設の維持管理の共同、分担実施」が17%(10件)、「7. 自然や歴史的文化的資源の整理、調査、研究」が12%(7件)、「4. 活動の場、活動の機会の提供」が8%(5件)、「5. 行政施策への支援、協力」、「6. 伊勢湾ブランドの創出・発信」がともに7%(4件)の順であった。



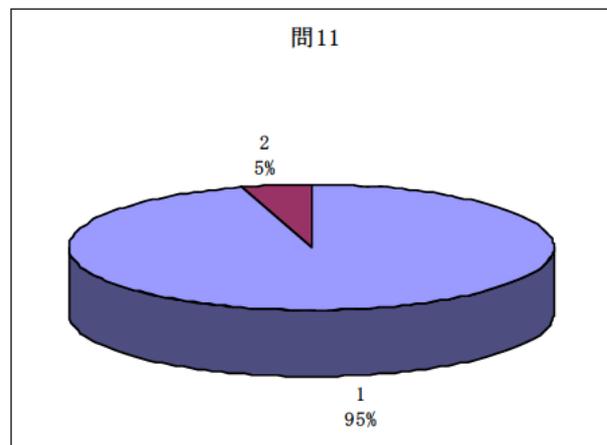
項目	件数
1 伊勢湾に関する様々な情報の共有	14
2 水質、生物等のモニタリングの協働・連携	16
3 森林や施設の維持管理の共同、分担実施	10
4 活動の場、活動の機会の提供	5
5 行政施策への支援、協力	4
6 伊勢湾ブランドの創出・発信	4
7 自然や歴史的文化的資源の整理、調査、研究	7
8 伊勢湾流域圏が一体となった行事、催事等の整理、調査、研究	0
9 その他	0
無回答	0

問 11. 「三重県では多様な主体（企業、大学、NPO等）との協働・連携が必要と考えております。今後、伊勢湾再生のために多様な主体が参加する協働・連携の場が必要と考えますか。」

このことについて、選択式で回答を求めた。

結果、「1. 必要」が 95% (20 件) で大半を占め、「2. 不必要」は 5% (1 件) のみであった。

各市町とも、伊勢湾再生のために多様な主体が参加する協働・連携の場が必要であるとの認識であることが伺える。



項目	件数
1 必要	20
2 不必要	1
3 その他	0
無回答	0

問 12. 「最後に、同封の資料「伊勢湾再生行動計画（概要版）」に対するご意見、ご要望等ありましたら、お教え下さい。」

このことについて、記述式で回答を求めた。

要望を下記に記載した。

- ・目標達成のための施策が掲載されていますが、この施策に基づく具体的な実行計画を策定し、進行管理を行って頂くよう要望します。

3. まとめ

県内において活動する企業及び伊勢湾流域・沿岸域の市町の環境保全活動への取り組み状況や、伊勢湾との関わりが減少した原因などについて、その特徴を以下に記載した。

3-1 伊勢湾再生に関する「環境の保全」の取り組み状況について

企業では、社会貢献活動として伊勢湾再生に関する「環境の保全」の取り組みを行っている割合は24%と比較的少なく、その内容は、ISO14001の環境システムに基づく環境管理活動が多くを占めていた。

一方、市町においては、伊勢湾再生に関する「環境の保全」の取り組みを行っている割合が48%を占めているが、これは環境行政の一環として取り組まれており、当然の結果と思われる。

なお、NPO法人やその他小規模の任意団体でも、独自で伊勢湾再生につながる「環境の保全」の取り組みがされているものと考えられる。

3-2 伊勢湾との関わりが減少した原因について

企業では、「伊勢湾との関わりが減少していると実感している」との回答が33%、「実感したことがない」との回答が64%を占めていた。

また、「どの様な点で感じているか」の回答としては、

「水質汚濁」が29%、続いて「浮遊・漂着ごみ」が21%、「赤潮、苦潮等の発生」と「自然海岸の減少」が同じ割合で15%、となっており、半数の企業が「水質汚濁」と「浮遊・漂着ごみ」で伊勢湾との関わりが減少していると実感していることがわかった。

市町においては、「伊勢湾との関わりが減少していると実感している」との回答が57%、「実感したことがない」との回答が43%となり、その理由として、「水質汚濁」、「赤潮、苦潮等の発生」、「浮遊・漂着ごみ」がそれぞれ25%と多く、続いて、「生物の減少」が16%、となっており、ほとんどの市町が「水質汚濁」、「赤潮、苦潮等の発生」と「浮遊・漂着ごみ」で伊勢湾との関わりが減少していると実感していることがわかった。

3-3 過去の環境イベントへの参加状況について

企業では、環境イベントへの参加状況の回答としては、「いつも参加している」が4%、「参加したことがある」が11%と少ない状況であった。

一方、市町においては、環境イベントへの参加状況について、「1. いつも参加している」が24%、「参加したことがある」が33%と高い割合となっている。これは市町民への環境保全に対する意識啓発を図るため、積極的にイベント等へ参加していることが伺える。

なお、NPO法人やその他小規模の任意団体も、それらの環境イベントに参加されているものと考えられる。

3-4 今後開催されるイベント等への参加の可能性について

企業では、今後開催されるイベント等に、「参加したい」と回答している割合が7%、「条件・趣旨が合えば参加したい」と回答している割合が78%と多くを占めており、多数参加の可能性が考えられる。

また、多くを占めた「条件・趣旨が合えば参加したい」と回答した企業は、近くで、無料のイベントなら多数の参加が見込めると思われる。

3-5 伊勢湾再生のために企業と行政とが協働・連携して行う活動は何が重要かについて

企業では、「伊勢湾に関する様々な情報の共有」が26%、続いて「伊勢湾流域圏が一体となった行事、催事等の整理、調査、研究」が14%、「水質、生物等のモニタリングの協働・連携」が14%、「森林や施設の維持管理の共同、分担実施」が11%の順となっていた。

また、市町においては、「水質、生物等のモニタリングの協働・連携」が26%と多く、続いて「伊勢湾に関する様々な情報の共有」が23%、「森林や施設の維持管理の共同、分担実施」が17%の順となっていた。

伊勢湾再生のために企業と行政とが協働・連携して行う活動では、企業、市町どちらも割合に多少の違いはあるものの、「伊勢湾に関する様々な情報の共有」、「水質、生物等のモニタリングの協働・連携」、「森林や施設の維持管理の共同、分担実施」が重要と考えていることが伺える。

以上のことに留意して、伊勢湾再生のために企業と行政とが協働・連携して行う活動を企画・推進することが必要である。